

平成29年度 指定管理業務 事業評価書

施設名	百目木公園				
施設所管課名	都市整備課				
指定管理者名	百目木公園管理組合				
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日（5年間のうち2年目）				
利用料金制	<input type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 一部導入 <input checked="" type="checkbox"/> なし		※「一部導入」は利用料金制を導入しているが指定管理料を支出している施設		

1 施設の概要

施設の所在地	袖ヶ浦市百目木200番地
施設の設置目的	市民に憩いと安らぎのある場を提供する。
指定管理業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・百目木公園の施設の運営に関すること。 ・百目木公園の施設・設備の維持管理に関すること。 ・自主事業の運営に関すること。 ・その他百目木公園施設指定管理者業務仕様書のとおり施設の管理運営上必要な業務 自己評価の実施 指定期間終了における引継業務など

2 利用状況

項目	今年度 計画値	今年度 実績値	対計画比 (%又は増減)	前年度 実績値	対前年度比 (%又は増減)
開館日数（日）	357	357	100.0%	357	100.0%
施設利用者数（人）	100,000	113,339	113.3%	112,300	100.9%
貸室（設備）稼働率（%）	—	—	0.0	0.0%	0.0
事業開催数	2	2	100.0%	2	100.0%

3 施設の経営状況

（単位：千円）

項目	今年度 計画値	今年度 実績値	対計画比 (%又は増減)	前年度 実績値	対前年度比 (%又は増減)
指定管理料	22,680	22,680	100.0%	22,680	100.0%
利用者当たり管理コスト	0.23	0.20	88.5%	0.20	98.4%
利用者当たり自治体負担コスト	0.23	0.20	88.2%	0.20	99.1%

[評価結果]

評価項目	評価基準	自己評価	所管課評価
I 履行の確認			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1) 職員配置	基準に基づき、適切な人員配置がされたか	A	A
(2) 職員研修	業務に必要な研修・教育が適切に行われたか	B	B
(3) 利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	B
2 利用者に関する業務			
(1) 利用状況	利用者数・稼働率等は、適切な水準であるか	A	B
(2) 利用[使用]料金	利用料金の設定、利用[使用]料金の徴収・減免・還付の手続きは適切であるか	—	—
3 保守点検並びに清掃等業務等			
(1) 保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか	A	B
(2) 清掃業務・維持管理業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか	A	B
(3) 保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか	A	B
(4) 修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	A	A
4 事業の実施に関する業務			
(1) 指定事業	基準に基づく事業が適切に行われたか	A	A
(2) 自主事業	施設の目的に沿った自主事業が適切に行われたか	A	B
5 個人情報の取扱	個人情報の取扱いが適正に行われたか	A	A
I の総括	当該施設評価項目数 《標準評価項目数 12 本》	<u>11</u> 本	A B
* 指定管理者の自己評価	多目的広場・大型遊具を中心にきめ細かな整備清掃・保守点検・維持管理を行い、来園者に喜ばれるよう指定管理者として努めた。		
* 施設所管課の評価	公園施設の修繕について、技術力の高い自主事業を行っており、評価できる。		
II サービスの質の評価			
1 利用者満足度	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当であるか	A	B
2 維持管理業務 (清掃、備品等の維持管理)	日常清掃業務や衛生管理は適正であるか 備品などの設備の維持管理は適正であるか	A	B
3 運營業務 (貸出状況、接客対応等)	備品の貸出状況や消耗品等の補充状況は適切であるか 利用許可など利用者への接客対応は適切であるか	A	A
4 指定・自主事業(事業内容の質)	実施された事業内容は、質の高いものであったか	B	A
II の総括	当該施設評価項目数 《標準評価項目数 4 本》	<u>4</u> 本	A A
* 指定管理者の自己評価	トイレを1日3回清掃するなど、日常の清掃業務を適時行い、清潔感のある公園になるよう、常に心がけて取り組んだ。 窓口の貸出業務・応対について、親切丁寧を基本として、職員の意識向上に努めた。		
* 施設所管課の評価	園内の日常清掃が適時行われており、利用者の憩いの場として配慮されている。		

総合評価		I・II を合わせた総合評価	自己評価	所管課評価
			A	A
総合評価に係る 総括意見	指定管理者	常に清潔感のある公園を提供できるよう、日常清掃、グラウンド整備等に力を入れ、利用者の増加になるよう努めた。		
	施設所管課	公園施設の経年劣化が進行しているが、修繕を行い、適切な維持管理を遂行されており、評価できる。		
その他特記事項 (成果・改善等)	指定管理者	最近では保育園・幼稚園の団体利用者が多く来園しているため、遊具の安全管理を徹底し、組合員に周知させた。また、組合員で対応可能なものについては、自ら材料を調達し修繕した。		
	施設所管課	利用率の高い運動施設を抱えているが、日常清掃を適切に行い、利用者が気持ちよく利用できる状態を保っており、評価できる。		

《評価区分》

①評価基準	<p>A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である</p> <p>B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である</p> <p>C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、内容の一部に課題がある</p> <p>D (要改善) = 協定書等の基準が遵守しておらず、改善の必要な内容である</p>
②総括	<p>A (優良) = 評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である</p> <p>B (良好) = 評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である</p> <p>C (課題含) = 評価基準がすべてC以上である</p> <p>D (要改善) = 評価基準にDが含まれている</p>
③総合評価	<p>A (優良) = 総括がすべてB以上であり、かつAが1つ以上である</p> <p>B (良好) = 総括がすべてB以上である</p> <p>C (課題含) = 総括がすべてC以上である</p> <p>D (要改善) = 評価基準にDが含まれている</p>